

山から下りてくる鳥

21世紀の森と広場にも少しずつ^{ふゆどり}冬鳥がやってきています。

冬鳥は、多くが北の国から渡ってきます。

でも、日本国内の涼しいところ、^{あ こうざんたい}亜高山帯とか高原とかで^{はんしよく}繁殖をし、

冬には松戸21世紀の森と広場（平地）に降りてくる鳥もいます。

今日は、その中の3種類についてご紹介いたします。

アカゲラ（キツツキです！）

生息地

日本の^{ていさんち}低山地や^{あ こうざんたい}亜高山帯などで繁殖します。低地でも繁殖することはありませんが、21世紀の森と広場では繁殖は確認されていません。

冬には低地の^{じゅりんち}樹林地の多い公園や^{のうこうち}農耕地の林にやってきます。^{せいたいえん}生態園で多くみられます。

繁殖

^{いっふういっさい}一夫一妻。

オスメス共同で樹木に穴（^{じゅどう}樹洞）を掘って子育てをします。

巣の深さは20～40cmほどもあります！

生態

^{じゅもく}樹木の^{みき}幹や^{えだ}枝によじ登りながら、木の^わ割れ

目をつつきながら^{さいじ}採餌します。木の枯れた部分が特に好きです。^{えさ}餌は木の中などにいる^{こうちゅう}甲虫の^{ようちゅう}幼虫やアリ等の^{こんちゅう}昆虫が主ですが、時には木の実を食べることもあります。

冬場は一羽でいることが多いですが、シジュウカラやコゲラなどの^む群れ（^{こんぐん}混群）と一緒にいることもあります。キョッキョッとよく通る声で^な鳴きながら^{いどう}移動しているので、声ができる方向を探してみてください！



我孫子野鳥を守る会

カケス (今年は当たり年?)

生息地

低山帯の林で繁殖。

雑木林(落葉広葉樹林、常緑広葉樹林)、松林、
亜高山帯の針・広混林に住んでいます。特にシイ・
カシ・ナラの林が好きです。

大きい声でジェーッと鳴くので見つけやすいです。

大きな奇声やほかの鳥の鳴き真似も出すことができます!



繁殖

一夫一妻。

木の上に巣を作ります。小枝・木の根・泥、そして細い根っこや葉っぱで巣を作ります。生まれてすぐはママが抱卵・抱雛をして、パパはママとヒナに餌を運んでくれます。少し大きくなるとパパとママ一緒に餌を運びます。

生態

雑食性で昆虫や小型の動物(雛や卵)、果実・種子・木の芽なんでも好きです。でも、なによりどんぐりがとっても好きです。どんぐりをたくわえます! その時、5個前後のどんぐりを一時的に食道に蓄えて運ぶというのはなれわざ?ができます。その時の決まりごとは必ず鋭いくちばしにどんぐりを1個啜(くわ)えることです。

渡り(移動)

秋になると千葉県の内陸部の低地各地で移動する姿が観察できます。

ふわふわとした羽ばたきでまっすぐ移動してきます(ぐっぱぐっぱ、ひらひらという感じでしょうか)。今年は、千葉県各地で姿を見ることが多いようで、「当たり年?」と言われていています。

ルリビタキ (生態園の入り口あたりで出会えます)

生息地

四国・本州中部以北の亜高山針葉樹林帯や北海道で繁殖します。冬には低地の林に下りてきて21世紀の森と広場にもやってきます。



繁殖

一夫一妻。

岩の間や木の根などのあなぐらのような場所に巣を作ります。

巣は地衣類、蘚類などの苔や草、シダや獣の毛を使います。基本的にはママが巣作りをし、パパはガードをします。抱卵もママだけが行うという研究結果があります。

でも、ヒナへの給餌は一緒にするとのこと。

生態

暗い林が好きです。林の下の方で採餌します。好きなものは虫ですが、秋に実る小さな木の実も大好物です。

餌を見つけると飛びついてキャッチします。

21世紀の森と広場の生態園がお気に入りです。

人間をあまり怖がりませんから、そっと探してみてください！